



BOSAI STAND



6月には各学部で防災学習(地震編)が行われました。職員室から体育館に続く廊下の掲示板には、高等部1年生の防災学習の様子が紹介されています。生徒たちが真剣に学習に取り組んだ様子が伝わってきました。まだ見ていないという先生、ぜひご覧ください!!

さて、学校安全計画によれば、7月のポイントは**落雷と竜巻**です。BOSAI STAND 第3号では、これらの指導についての情報を中心にお伝えします。

雷や竜巻のもと「積乱雲」です

空がにわかにかき曇って周囲が真っ暗になり、大粒の雨が降ってくるということがあります。そのときの真っ黒な雲が積乱雲(入道雲、雷雲)です。

積乱雲は、地表の空気が太陽の熱で暖められたところに、上空に冷たい空気(寒気)が入り込み、大気の状態が不安定になったときに発生します。主に夏場に発生することが多い雲です。



【写真】発達して下部が真っ黒になった積乱雲 (Wikipediaより)

積乱雲の中では激しい上昇気流が起きていて、大粒の雨や雹(ひょう)が降ったり、雷が発生します。また、条件によっては積乱雲の中から漏斗状の雲が現れ、竜巻になることもあります。

周囲が暗くなるほどの真っ黒な雲と、大雨、雷、竜巻は、セットにして覚えておきましょう。

雷・竜巻のこんなことを指導します

みやぎ学校安全基本指針の中で、雷と竜巻についてどのような指導をすることになっているか見てみましょう。特別支援学校で指導すべき内容を抜粋します。

落雷の被害に備えて (みやぎ学校安全基本指針 p 50)

- ・雷は危険である。
- ・雷が人を直撃すると、約80%が死亡事故になる。
- ・雷が落ちやすいところとして、グラウンド、テニスコート、ゴルフ場、屋外プール、海などがある。
- ・傘には落雷しやすいので使わない。
- ・大きな木には落雷しやすいので避難しない。
- ・外にいて雷鳴が少しでも聞こえたら安全な建物等に避難する。
- ・雷からの避難場所として、自動車、バス、列車、建物の中、配電線、送電線の下などがある。

風の被害に備えて (抜粋; 基本指針 p 49)

- ・竜巻が発生すると、電柱や大木が倒壊したり、車や屋根が飛ぶ等の被害が発生するので極めて危険である。
- ・気象台から竜巻注意情報が発表され、発達した雷雲の近づく兆しがある場合には直ちに頑丈な建物に避難。
- ・発達した雷雲の近づく兆しとは以下のような現象。
 - ①真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる
 - ②雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする
 - ③ヒヤッとした冷たい風が吹き出す
 - ④大粒の雨や「ひょう」が降り出す

裏もあ
ります→



減災絵本リオンが贈呈されました



防災避難訓練のあった6月25日(火)に、防災士会みやぎの方が3名いらっしゃって、減災絵本リオンの読み聞かせと贈呈をしていただきました。参加した中学部1年の生徒たちは、予想以上に興味を示して真剣に耳を傾けていて、中には席を立ててかぶりつくようにして見ている生徒もいました。

この絵本は、地震・津波だけでなく、土砂災害、台風、雪害、火山災害などいろいろな災害が紹介されていて、それらの災害の時にどうすればよいか、タンポポの綿毛の妖精リオンが教えてくれます。リオンが教えてくれたことを「せ〜の」でみんなで復唱したりして、楽しく学習しました。

いただいた絵本をこれからフルに活用して、防災教育を進めていきたいと思えます。防災士会みやぎの皆様、ありがとうございました〜!

雷や竜巻について気象庁が出している資料

大雨や、それに伴う雷・竜巻について、気象庁がビデオやリーフレットを作成しています。授業の準備で読んで、実際に授業の中で使ってみてはいかがでしょう。

○気象庁の刊行物・レポート

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/index.html>



- ・防災啓発ビデオ「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」(↑)
- ・リーフレット「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」(←)
- ・リーフレット「竜巻から身を守る～竜巻注意情報～」(←)

リーフレットはPDFファイルで保存ができます。ネット上での探し方、保存の仕方などが不明な場合は防災主任にご相談ください。



防災主任の学習室にも資料あります

雷や竜巻についての解説を「防災主任の学習室」というホームページに置いてあります。

○防災主任の学習室 <http://hiroy.kir.jp/bosai/>
→学習机

→防災主任のノートブック

→Wikipedia と Youtube で学ぶ
過去の災害

<http://hiroy.kir.jp/bosai/study/wikiytb/>

と進んで、「竜巻」と「落雷」のページをご覧ください。(Youtubeは学校では見られませんので、ご家庭のパソコンでどうぞ...)

サーバーに安全教育教材フォルダ

BOSAI STAND No.2 で「じゃがポテ仮面のじしんだんごむし」の紹介をしました。そのとき、Youtube のURLを付けましたが、学校からYoutubeは見られないのでした！

そこで、「じゃがポテ仮面のじしんだんごむし」の動画をサーバーに保存しました。ついでに、この動画以外にも安全教育の教材に使えるものを、いくつか見つくり入れてあります。(震災時の本校の被災映像、他)

今後、少しずつ拡充していきますので、時々ぞいてみてください。また、こんなものがほしいという希望があったらお寄せください。

○svr02

→先生用

→危機管理対策委員会

→H25

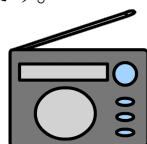
→安全教育教材



校外学習にはラジオを！

校外学習に行くときに、教員が携帯用の救急バッグを持って行くことは、もう身に付いていることと思いますが、これからは、それにぜひラジオを加えてください！

地震や津波、急な気象災害などの情報を得るためにラジオが必要です。気象災害に関しては、ラジオの他にスマートフォンが1台あると、気象庁のレーダー・ナウキャスト(降水・雷・竜巻)で状況を確認できるので、なお良いです。



この際、いつでもどこで災害にあっても対処できるように、昨年度紹介した「身に付ける防災グッズ」を用意してませんか？ ご自分のためにも。



※総額 3,500円ぐらいですが、これをウェストポーチやリュックに入れて、外出時(仕事時)に常に身に付けています。